

事務事業名	文化振興事業		事業コード	10050800101		
所管部署	文化課	電話	50-3164		記入者名	藤田 諒子
事業対象	市民					
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容		
根拠法令	無					
根拠例規	有	坂井市文化未来会議設置要綱、坂井市全国文化芸術大会出場激励金支給要綱				
関連計画・マニュアル	無					
事業の概要	<p>全国大会に出場する市民に対し大会での活躍を激励することにより、文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を設置し、文化活動の振興を図る。</p>					
	<p>・激励金交付制度の周知を行い、文化芸術の全国大会に出場者への支援を行います。激励金の授与だけでなく、激励会を開催しています。全国高等学校総合文化祭（放送部門）、NHK杯全国高校放送コンテスト、国民文化祭（競技かるた）、全国高等学校ロボット競技大会、マーチングバンド全国大会、パトントワリング全国大会、全国小・中学生かるた選手権大会などの出場者を激励しました。</p> <p>・観光、音楽、文芸、文化財、まちづくりなどさまざまな分野の委員からなる文化未来会議を開催し、坂井市の文化振興を図ります。</p>					
事業の目的・事業の概要等	<p>○報償費 7千円          ○需用費（消耗品、光熱水費等） 220千円          ○役務費（陶芸工房火災保険料） 7千円          ○委託料 250千円          ○使用料及び賃借料（土地借上料等） 417千円          ○工事請負費 1,285千円</p> <p>【激励事業】          全国文化芸術大会等に出場1名につき5千円、団体については100千円を限度として支給する。          ○報償費（激励費） 150千円</p>					

すぐに行える改善提案	市民に周知・普及活動の推進を目指していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	激励金の交付に関しては、市内小・中学校および県内高等学校（特別支援学校を除く）に案内をしています。坂井市ホームページや「広報さかい」でも周知を行なっています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	文化未来会議の意見をいただき、文化活動の振興を図っていきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	年間で3回の会議を開催しました。最重要とされた若年層への文化振興について、美術館と学校をつなぐ「滋賀次世代文化芸術センター」による連携授業の視察研修を滋賀県で行いました。研修の成果を坂井市の実情を踏まえたうえで、反映していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	250 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	221 千円	219 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	7 千円	7 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	1,860 千円	406 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	2,338 千円	632 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.50 人	3,555 千円	0.70 人	4,976 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.50 人	3,554 千円	0.70 人	4,976 千円	人	千円	人	千円
		総事業費		5,892 千円	5,608 千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費	特定財源	国県支出金	857 千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			40 千円	40 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他	千円		592 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源	4,995 千円	4,976 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	5,892 千円	5,608 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	全国大会に出場する市民に大会での活躍を激励することにより文化活動の振興を推進していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現行予算を最大に活用して実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行える改善提案	市民に周知・普及活動の推進を目指していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	文化未来会議の意見をいただき、文化活動の振興を図っていきます。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	全国大会出場者数	人	目標値 30 達成率	30 達成率	30 達成率	30 達成率
		実績値	30 100	56 186.67	16 53.33	25 83.33
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	文化団体補助事業			事業コード	10050800106
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	藤田 諒子
事業対象	(公財)丸岡文化財団、坂井市文化協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	(公財)丸岡文化財団事業、坂井市文化協会事業
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市教育委員会文化課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、(公財)丸岡文化財団事業及び坂井市文化協会の実施する文化活動事業を支援する。				
	<p>【(公財)丸岡文化財団】 人件費及びまるおか子供歌舞伎事業に係る経費について補助することで、各種文化事業の企画・運営を行う(公財)丸岡文化財団を支援する。 ・(公財)丸岡文化財団運営補助金 19,389千円</p> <p>【坂井市文化協会】 文化協会の活動事業に係る経費について補助する。 ・坂井市文化協会事業補助金 2,600千円</p>				

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	市民(若年層)がより多く参加できるよう、団体の運営を行う必要があります。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	一筆啓上賞顕彰式や総合美術展、子ども文化祭の開催にあたり、市内小中学校や県立高等学校の放送部・美術部・写真部・書道部等に運営協力や出品をいただき、若年層の文化事業への参加を図っています。

【担当評価】 妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【担当評価】 効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【担当評価】 有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
【事業のコスト】 コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	21,989千円	28,154千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	21,989千円	28,154千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.21人	1,493千円	0.27人	1,898千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.21人	1,493千円	0.27人	1,898千円	人	千円	人	千円
	総事業費		23,482千円	30,052千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		23,482千円	30,052千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		23,482千円	30,052千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	丸岡文化財団及び坂井市文化協会の実施する文化活動を支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	財団・協会が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限に活用していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度 ー 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民(若年層)がより多く参加できるよう、団体の運営を行う必要があります。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】 成果	文化活動事業数	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
		目標値	130	達成率	130	達成率	130	達成率	130
	実績値	8688	6683.08	112	86.15	116	89.23	115	88.46
	文化協会会員数	目標値	3000	達成率	3050	達成率	3150	達成率	3150
		実績値	2609	86.97	2888	94.69	2909	92.35	2973
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
	実績値		達成率		達成率		達成率		達成率
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
	実績値		達成率		達成率		達成率		達成率
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
	実績値		達成率		達成率		達成率		達成率

事務事業名	文化活動支援事業			事業コード	10050800111
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	藤田 諒子
事業対象	市民、坂井市文化協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	文化祭事業、公演事業、市民文化創造企画支援事業
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することで、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進していく。				
	【坂井市民文化祭】 市民が日頃の文化活動の成果の発表と交流を図る文化祭を開催する（10月～11月）。総合開会式、4地区会場で開催。 ・坂井市民文化祭事業委託料 4,995千円				
	【文化施設公演委託】 ハートピア春江及びひみくに文化未来館において文化公演を実施する。 ・文化施設公演業務委託料 32,000千円				
	【市民文化創造企画支援事業委託】 市民グループが自主的に企画立案した事業を支援する。 ・市民文化創造企画支援事業委託料 1,200千円				

すぐに行ける改善提案	文化祭事業は、現状のスタイルを継続しますが部門ごとの合同開催を働きかけます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	文化祭事業とは別に、坂井市文化協会の主催で郷土芸能部門による「郷土芸能祭」や「子ども文化祭」、美術部門による「総合美術展」を開催しています。今後は坂井町の芸能部門（音楽）が中心となって行なっている「ふれあいコンサート」の拡大を目指します。		
中長期的に取り組むべき改善提案	公演事業の計画の際には、事業の趣旨・目的にふさわしい内容で実施できるように早くから十分協議を行っていきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	公演事業の計画の際には、ハートピア春江、みくくに文化未来館それぞれのホールの特性を考慮し、事業の趣旨や目的にふさわしい内容で実施できるよう協議を行っていきます。		

【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【妥当性】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	38,195	37,943	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円			
			その他	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	38,195	37,943	千円	千円			
	人件費	正職員	0.32 人	2,275 千円	0.40 人	2,844 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.32 人	2,275 千円	0.40 人	2,844 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	40,470 千円	40,787 千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		40,470 千円	40,787 千円	千円	千円					
財源合計	40,470 千円	40,787 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市の事業であるが文化協会等に委託して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限に活用して実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行ける改善提案	文化祭事業は、現状のスタイルを継続しますが部門ごとの合同開催を働きかけます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	公演事業の計画の際には、事業の趣旨・目的にふさわしい内容で実施できるように早くから十分協議を行っていきます。			
目標年度 平成28 年度				

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度				
成果	市民文化祭作品展示出展数	点	目標値	5000	達成率	5000	達成率				
			実績値	7194	143.88	6041	120.82	5477	109.54	4874	97.48
成果	市民文化祭芸能発表出演者数	人	目標値	1400	達成率	1400	達成率				
			実績値	1247	89.07	1382	98.71	1395	99.64	1310	93.57
活動	市民文化祭来場者数	人	目標値	10000	達成率	10000	達成率				
			実績値	11963	119.63	12642	126.42	10859	108.59	10777	107.77
活動	公演事業入場料収入（ハートピア春江）	千円	目標値	10000	達成率	8000	達成率				
			実績値	10726	107.26	8500	106.25	5534	103.05	6803	98.49
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率				
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		
			実績値								

事務事業名	一筆啓上手紙資料館建設事業			事業コード	10050800116
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	下口栄子
事業対象	市民・観光客				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	日本最古の天守閣として知られる丸岡城及び「一筆啓上賞 日本一短い手紙」を紹介する資料館を建設し、歴史と文化のまちの継承と、新たな手紙文化の創造、丸岡城観光活性化の拠点として整備を行う。				
	施設名 坂井市一筆啓上 日本一短い手紙の館 所在地 坂井市丸岡町霞町3丁目10-1 延床面積 698.97㎡ 施設概要 常設展示室、企画展示室、多目的室、古城展望室、ふみの庭、エントランスホール、事務所、応接室、収蔵庫 事業費 364,937千円 本体工事 277,409千円 石積工事 19,780千円 展示工事 30,704千円 設計・監理委託 10,941千円 制作業務委託 15,098千円 備品その他 11,005千円				
事業の目的・事業の概要等					

すぐにできる改善提案	平成27年7月31日に完成し、8月23日に開館記念式典を行いました。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	平成27年8月に無事竣工しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	平成27年8月に無事竣工しました。今後は、丸岡城観光の滞留時間の延長や、「一筆啓上 日本一短い手紙」で花開いた地域独自の手紙文化を市内外に広くアピールし、施設の多角的な活用を図っていきます。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	地域独自の手紙文化の発信拠点として、丸岡城と手紙の館の連携した事業運用を図ることで、丸岡城観光の充実と、地域のにぎわいの創出を図っていきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	22,398千円	4,634千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	341千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	42千円	45千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	218,520千円	118,957千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	241,301千円	123,636千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.30人	2,133千円	0.47人	3,303千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30人	2,133千円	0.47人	3,303千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	243,434千円	126,939千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	65,346千円	12,054千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	103,100千円	80,100千円	千円	千円	千円	千円		
その他		72,855千円	31,482千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,133千円	3,303千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	243,434千円	126,939千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	27年7月に完成し、8月23日に落成式を行い開館しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	施設運営を丸岡文化財団に委託し、施設管理を文化課で行います。28年度からは、運営については引き続き丸岡文化財団に委託し、施設管理については坂井市公共施設等管理公社を指定管理者として委託します。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	予算内で完了しました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	27年7月に完成し、8月23日に落成式を行い開館しました。			
すぐにできる改善提案	27年7月に完成し、8月23日に落成式を行い開館しました。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	27年7月に完成し、8月23日に落成式を行い開館しました。			
目標年度	—	年度		

事業の成果	成果	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
				目標値	100	達成率	50	達成率
	実績値	100	100	44.3	88.6			
	目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
	実績値							
	目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
	実績値							
	目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
	実績値							
	目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
	実績値							
	目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
	実績値							



事務事業名	文化の森・文化未来館管理運営事業			事業コード	10050805102
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	西川 しのぶ
事業対象	市民 施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	管理運営業務
根拠法令	有	地方自治法第244の2第3項及び各施設設置条例の規定			
根拠例規	有	坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例 坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例施行規則 みくに文化未来館条例 みくに文化未来館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

【事業の概要】

文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化振興を図る。

市の文化活動の拠点施設として、指定管理者により適切な管理を行うとともに、修繕及び改修については、長期的な視野に立ち計画的に行う。

指定管理者 坂井市文化振興事業団 平成25年度～平成27年度

■文化の森・文化未来館管理運営 119,485千円

○需用費(施設等修繕料) 1,264千円

○役務費(火災保険料) 205千円

○委託料(指定管理委託料) 97,615千円

(調査委託料) 2,251千円

○使用料及び賃借料(土地借上料) 3,820千円

(デマンド監視システム使用料) (140千円)

○工事請負費(施設改修工事費) 14,330千円

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費		
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度	平成25年度	平成24年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	
			委託費	99,866千円	97,615千円	千円	千円	
			需用費	1,264千円	12,039千円	千円	千円	
			役務費	205千円	205千円	千円	千円	
			その他	18,281千円	67,056千円	千円	千円	
			事業費合計	119,616千円	176,915千円	千円	千円	
			人件費	正職員	0.45人 3,199千円	0.45人 3,163千円	人	千円
				臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円
				人件費合計	0.45人 3,199千円	0.45人 3,163千円	人	千円
	事業費	総事業費	122,815千円	180,078千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	
その他			500千円	13千円	千円	千円		
一般財源		122,315千円	180,065千円	千円	千円			
財源合計	122,815千円	180,078千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	千円	目標値	11500	達成率 13100	達成率 13000	達成率 12600		
		実績値	10711	93.14	10790	82.37	13354	102.72
成果	人	目標値	113100	達成率 105600	達成率 108500	達成率 94800		
		実績値	111126	98.25	110055	104.22	159055	146.59
活動	%	目標値	47.6	達成率 40.6	達成率 42.0	達成率 41		
		実績値	56.0	117.65	49.2	121.18	37.1	88.33
活動	%	目標値	57.7	達成率 57.6	達成率 63.8	達成率		
		実績値	61.4	106.41	58.0	100.69	63.5	99.53
活動	%	目標値	41.1	達成率 40.9	達成率 45.8	達成率		
		実績値	34.5	83.94	31.5	77.02	36.9	80.57
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、業務の見直しを行って管理内容の検討を行います。
目標年度 平成27年度	
取組状況	適正な維持管理を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に対応した施設整備を計画的に行い、適正に管理運営ができるよう検討を行っていきます。
目標年度 平成30年度	
取組状況	ハートピア春江音響設備改修工事や舞台機構改修など、適正な改修を行っていく。将来の改修についても検討を行っていく。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	老朽化した施設及び設備の状況を的確に把握しながら計画的な施設整備を行い、文化施設の拠点として指定管理者による管理運営を行っていきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成31年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成31年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成31年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、業務の見直しを行って管理内容の検討を行います。			
目標年度 平成28年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に対応した施設整備を計画的に行い、適正に管理運営ができるよう検討を行っていきます。			
目標年度 平成30年度				

【事業の成果】

事務事業名	文化財保護審議会運営事業			事業コード	10050900101
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	青山 航
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、坂井市文化財保護審議会規則			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	新たな文化財の指定に関する諮問や調査、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。				
	文化財保護審議会の開催及び運営（委員数9人、任期2年） ○報酬（文化財保護審議会委員報酬）184千円 ○旅費（費用弁償）1千円 ○需用費（会議費）3千円				

すぐに行える改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査し審議会へ提案します。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	平成27年度に2件の新規指定を行いました。今後も調査を継続し、適宜指定や登録への審議・調査を行います。
中長期的に取り組むべき改善提案	未指定となっている文化財について調査し審議会へ提案し、委員のみでなく多くの有識者に調査指導を受けることのできる環境を整えていきます。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	指定に関しては、多くの有識者に調査指導を受けられる環境を整えると共に、活用についても今後審議していきます。

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	184 千円	184 千円	千円	千円				
		委託費	千円	千円	千円	千円				
		需用費	3 千円	3 千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	1 千円	1 千円	千円	千円				
	事業費合計	188 千円	188 千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.70 人	4,976 千円	0.77 人	5,474 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.10 人	205 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.80 人	5,181 千円	0.77 人	5,474 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,369 千円	5,662 千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		5,369 千円	5,662 千円	千円	千円					
財源合計	5,369 千円	5,662 千円	千円	千円						

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
会議1回あたりの議案処理件数		件	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	1	達成率
			実績値	1	50	1	50	1	50	1	100
処理議案件数		件	目標値	2	達成率	4	達成率	4	達成率	1	達成率
			実績値	2	100	3	75	2	50	1	100
会議開催回数		回	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	3	達成率
			実績値	3	150	3	150	2	100	4	133.33
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	新たな文化財の指定、登録文化財の保護について審議していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	引き続き文化財保護審議会委員10名で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行える改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査し審議会へ提案します。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	未指定となっている文化財について調査し審議会へ提案し、委員のみでなく多くの有識者に調査指導を受けることのできる環境を整えていきます。			
目標年度 平成30 年度				

事務事業名	文化財保存管理事業			事業コード	10050905101		
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	堤 徹也		
事業対象	市内の文化財 市が所有する文化財 市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	保存管理事業		
根拠法令	有	文化財保護法					
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例 坂井市教育委員会文化課所管補助金交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】  事業の目的・事業の概要等	文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。						
	【指定文化財等管理事業】 市が所有・管理する史跡等の維持管理を行う。 ○委託料 丸岡城消防設備改修に伴う既存水槽等の封入工事。 ○工事請負費 7,009,200円 六呂瀬山古墳群駐車場の不法投棄防止フェンス設置工事 ○工事請負費 1,220,400円						
	【指定文化財補助事業】 指定文化財所有者に対し、管理奨励金を交付して適切な管理を支援する。 ○報償費 37件 470,000円 無形文化財保持者・保持団体に補助金を交付して活動を支援する。 ○補助金 8件 720,000円 指定文化財保存事業に対して、補助金を交付して事業を支援する。 ○補助金 5件 4,254,000円						
	【文化財看板設置】 ○6件（新規設置・撤去を含む） 643,000円						

すぐできる改善提案	発掘調査で出土した遺品について、1箇所まで保存管理・公開ができる場所を、空き施設の有効活用とともに検討していきます。		
目標年度 平成28年度			
取組状況	出土遺物の保管場所については、引き続き空き施設の有効活用を検討しています。新たに増えた資料については、随時台帳を作成して管理に努めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	貴重な文化財を後世に伝えるために公開や活用を通して文化財保護の啓発を行います。		
目標年度 平成30年度			
取組状況	児童を対象とした体験学習の実施などにより、多世代にわたって文化財の大切さを周知していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	1,805	3,210	千円	千円			
			需用費	229	394	千円	千円			
			役務費	217	152	千円	千円			
			その他	14,642	20,914	千円	千円			
			事業費合計	16,893	24,670	千円	千円			
	人件費	正職員	0.95人	6,754	0.90人	6,325	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.95人	6,754	0.90人	6,325	人	千円	人	千円
	総事業費	23,647	30,995	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	117	117	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		23,530	30,878	千円	千円					
財源合計		23,647	30,995	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	有形文化財の管理者について受益者の拡大を図ります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	予算の範囲内で無形・有形文化財の補助金を交付し文化財の保護意識の啓発を行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	平成28年度より北陸新幹線及び高規格道路等の開発行為による発掘調査が始まる予定であり、六呂瀬山古墳の整備や丸岡城の発掘調査なども並行して行っていくこととなるため事業量の増大が見込まれる。			
すぐできる改善提案	発掘調査で出土した遺品について、1箇所まで保存管理・公開ができる場所を、空き施設の有効活用とともに検討していきます。			
目標年度 平成29年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	貴重な文化財を後世に伝えるために公開や活用を通して文化財保護の啓発を行います。			
目標年度 平成30年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	指定文化財の補助実施率	%	目標値 11 達成率	11 達成率	11 達成率	11 達成率
		実績値 13 118.18	8 72.73	8 72.73	11 100	
成果	指定文化財の毀損・滅失による解除件数	件	目標値 0 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率
		実績値 0	0 ---	0 ---	0 ---	
活動	指定文化財の毀損等発生件数	件	目標値 0 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率
		実績値 4	5 ---	0 ---	1 ---	
活動	文化財の新規指定件数	件	目標値 1 達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値 2	200	0 ---	0 ---	
活動	市有文化財等維持管理実施件数	件	目標値 10 達成率	10 達成率	10 達成率	10 達成率
		実績値 10	100	10 100	10 100	
活動	文化財補助金支出件数	件	目標値 11 達成率	11 達成率	11 達成率	11 達成率
		実績値 13	118.18	11 100	10 90.91	

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			事業コード	10050905111
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	青山 航
事業対象					
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。				
	<p>周知の遺跡内で土木工事を行う場合に、試掘調査を実施し記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○賃金（発掘調査作業員賃金） 1,017千円</li> <li>○需用費（整理作業用具代等） 135千円</li> <li>○委託料（試掘調査掘削委託料） 1,285千円</li> <li>○使用慮及び賃借料（機材借上料） 140千円</li> <li>○土地購入費（六呂瀬山古墳アクセス道路用地購入費用） 991千円</li> </ul>				

すぐに行ける改善提案	周知の埋蔵文化財包蔵地内に存在する文化財が破壊されないように開発行為時の届け出をホームページ、広報等を活用して周知徹底していきます。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	市内には埋蔵文化財包蔵地が多くある事、開発行為の際には届出等が必要になることを、ホームページ等で周知し徹底していきます。
中長期的に取り組むべき改善提案	市内遺跡の範囲確認で出土した遺物の整理や公開のための場所を確保し、成果を市民に還元できるよう努めます。
目標年度 平成35 年度	
取組状況	市内遺跡の調査成果を公開するなど、市民に還元できるように努めます。

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	2,858千円	6,072千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	142千円	99千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,657千円	173千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	4,657千円	6,344千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.80人	5,687千円	0.72人	5,060千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.30人	616千円	0.59人	1,477千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.10人	6,303千円	1.31人	6,537千円	人	千円	人	千円
	総事業費		10,960千円	12,881千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	1,000千円	2,000千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		9,960千円	10,881千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	10,960千円	12,881千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開発行為による埋蔵文化財の破壊や紛失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と円滑な調整を事業の周知徹底により図っています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限活用してPRに努め実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開発行為等での試掘調査が増えていることから増員し実施していきます。			
すぐに行ける改善提案	周知の埋蔵文化財包蔵地内に存在する文化財が破壊されないように開発行為時の届け出をホームページ、広報等を活用して周知徹底していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市内遺跡の範囲確認で出土した遺物の整理や公開のための場所を確保し、成果を市民に還元できるよう努めます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	届出1件あたりの処理コスト	円	目標値				
			実績値	85638	90910	16600	10127
活動	調査面積	㎡	目標値	400	300	300	300
			実績値	529.75	657	732.35	572
活動	発掘届出件数	件	目標値	60	60	63	50
			実績値	64	62	45	63
活動	内容確認遺跡数	件	目標値	50	50	40	40
			実績値	61	52	40	51
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	丸岡城国宝化推進事業			事業コード	10050905116
所管部署	文化課	電話	50-2270	記入者名	堤 徹也
事業対象	丸岡城天守、丸岡城周辺、市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	丸岡城天守の調査研究を実施することで、歴史的、建造物的な価値を明らかにし、広く啓発する。調査成果を広く一般に周知広報し、丸岡城についての理解や興味関心、認知度の向上を図る。				
	○丸岡城調査研究委員会の開催 開催回数 2回				
事業の目的・事業の概要等	○調査業務の委託 C14放射性炭素年代測定業務委託 ・委託料 1,317,600円 保存図・実測図デジタルデータ化委託 ・委託料 78,300円				

すぐに行ける改善提案	調査成果を効率よく周知広報する方法を検討します。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	資料収集により提供された資料について、一部を丸岡歴史民俗資料館で展示公開しました。また、福井県立図書館での展示にも資料提供し、広く県民に事業成果をアピールすることができました。
中長期的に取り組むべき改善提案	調査成果を市民だけでなく、広く周知広報するとともに、丸岡城の魅力を観光分野でのアピールにも力を入れます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	フェイスブックで調査の進捗を随時お知らせします。また、調査成果をパネルにしてコミュニティセンター等での巡回展示を計画します。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,471	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	330	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	59	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	929	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	2,789	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.55 人	3,910 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.55 人	3,910 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,699	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	1,100	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		5,599	千円	千円	千円	千円				
財源合計	6,699	千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	県や調査研究委員会委員、多くの市民の協力を得ながら丸岡城の評価を高めています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成37	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成37	年度を目安
判断事由	予算の範囲内で無形・有形文化財の補助金を交付し文化財の保護意識の啓発を行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成37	年度を目安
判断事由	専門性の高い事業であることから専門的な知識をもつ人員の協力を模索していきます。			
すぐに行ける改善提案	調査研究を行っていく中での成果について、市民への発表・展示棟を検討していきます。			
目標年度 ー 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	貴重な文化財を後世に伝えるために公開や活用を通して文化財保護の啓発を行います。			
目標年度 ー 年度				

事業の成果	成果	委員会の開催	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
			目標値	回	2	達成率	達成率	達成率	達成率
	実績値		2	100					
	活動	資料の収集	目標値	件	0	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値		11	---			
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
実績値			達成率	達成率	達成率	達成率			

【事業の成果】

事務事業名	丸岡城周辺整備基金			事業コード	13020900101
所管部署	文化課	電話	50-3165	記入者名	西川 しのぶ
事業対象					
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	地域が一体となったもてなしのまちづくり		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	丸岡城周辺整備基金条例			
関連計画・マニュアル	無				

丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置します。

丸岡城周辺整備基金の管理  
平成27年度末現在 基金残高190,124千円

事業の目的・事業の概要等

すぐのできる改善提案	基金の趣旨・目的に沿った事業において、市の財政運営方針に基づき活用していきます。
目標年度 平成28年度	
取組状況	基金に8,000,000円積立する。
中長期的に取り組むべき改善提案	基金の設置目的を踏まえた運用を図っていきます。
目標年度 平成29年度	
取組状況	継続的に基金積み立てを行う。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	諸支出金	項	基金費	目	丸岡城周辺整備基金費					
		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度			
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	119千円	153千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費合計	119千円	153千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費	正職員	0.01人	71千円	0.02人	142千円	人	千円	人	千円	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	千円
		人件費合計	0.01人	71千円	0.02人	142千円	人	千円	人	千円	千円
		総事業費		190千円	295千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	119千円	153千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	71千円	142千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	財源合計		190千円	295千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
すぐのできる改善提案	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
年度末基金残高		円	目標値		190124034	---	19005226	---	32652652	---
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							